一般質問

■原油や物価の高騰に伴う七尾市内の産業への影響について

市独自の速やかな物価高騰対策を！

質 物価高騰が続くことで市内事業者の事業継続に支障が出てくる可能性も考えられる。政治が今なすべきことは、市内業者を破綻させない、絶対に市内の産業を守るという意思表示である。

年末、場合によっては来年もこの値上げ、物価高騰、原油価格の高騰が続く可能性が高い。一時的な対応ではなく、長期的な対策を打ち出さなければならない。

七尾市として、今の現状を見極めて、速やかな対応が求められている。速やかな追加の支援策を行うことが必要と思うが、行政の考えを伺う。

答 今後、事業継続に支障が出て来るような場合は、市場の変化などをしっかりと見極めた上で、事業継続に大きな支障があると感じた場合には、新たな支援策をしっかりとっていきたい。

急激な物価上昇は、事業収益や賃金等の家計の悪化につながり、事業者の価格転嫁や賃金上昇が今後期待される。国の復活支援金等の対象にならなかった事業者等も含めて、どのような支援策ができるか検討していきたい。

今、円安が進んでいるが、例えば輸出産業であったりインバウンドにおいては追い風になる部分がある。インバウンドが再開された状況等も見極めて、どのような経済効果があるか、必要な措置がある場合は予算措置をしていく。

山崎 智之 議員
（灘会）

プレミアム商品券（見本）

一般質問

■国民文化祭の取り組みについて

「香り文化」事業の発信を！

質 来年は、第38回国民文化祭が石川県で開催される。今大会では100を超える事業が展開され、七尾市も7つの事業を実施する。

前回石川県で行われた第7回大会で実施した「世界の香りフェアin能登」の取組を評価をし、七尾市では、毎年10月30日を香りの記念日として制定し、平成22年、長谷川等伯没後400年を記念し、等伯香が商品化された。畠山文化には香り文化がしっかりと根づいている。今回の国民文化祭を通して、七尾市の香り文化を再度全国に発信し、推し進めてみてはいかがか。

答 「世界の香りフェアin能登」の背景には、畠山文化の一つとして、香りをたしなんでいたことを裏づける香炉が七尾城下町遺跡から出土したことにあると聞いている。香り事業では、長谷川等伯の名前を冠したお香「等伯香」を生み出していることも承知している。

第38回国民文化祭では、七尾城や長谷川等伯とともに香り文化を全国に再発信するよい機会と捉え、石川県や香り事業関係者などと連携し、七尾市のさらなる文化振興、交流人口の拡大に取り組んでいく。

いしかわ百万石文化祭 2023 のポスター

中西 庸介 議員
（新政会）

いしかわ 百万石 文化祭 2023

第 38 回国民文化祭
いしかわ百万石文化祭 2023 のロゴ

一般質問

■子ども教育の充実について
■安心・安全な地域づくりについて

ICTを活用した学習支援の進捗状況は？

質 ①不登校児童・生徒および登校はしているが教室に入ることができない児童・生徒へのICTを活用した教育学習支援の状況と教室以外の場へのオンライン授業配信の現状を伺う。

②ひきこもり支援センターの設置について伺う。

③七尾市独自での防災士の会の設置について伺う。

答 ①不登校児童・生徒には、1人1台端末によるドリル学習やカメラを用いてのリモート授業、児童・生徒が、互いの考えを交流できる機能を用いての自他の考えを比較し、学びを深めるなどの活用を、登校はしているが教室へ入れない児童・生徒へは、校内の別室においてドリル学習や教室の様子を配信するリモート授業を実施している。

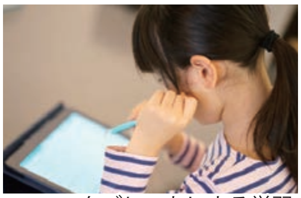
②七尾市は第1段階にあり（下図参照）、今後、先進自治体や国からの情報を収集し、次の段階に向けた準備に取り組む。

③各地域の防災士会が中心となり、市全体の防災士会を設立したいという機運が高まれば組織形態も含め検討する。

七尾市の現状

第1段階	第2段階	第3段階
ひきこもりサポート事業	ひきこもり支援ステーション事業	ひきこもり地域支援センターの設置
・相談支援を基本とした窓口の設置	・居場所づくりなどの3つ以上の取組み	・連絡協議会などの5つ以上の必須事業

木戸 奈諸美 議員
（あすなろ）



タブレットによる学習